

令和2年度 高等部 経営案

1 目指す生徒像

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| (1) 働く体力をもち、健康ではつらつとした生徒 | 元気な子 |
| (2) 主体的に判断し、何事にも意欲をもって、最後までやり遂げる生徒 | がんばる子 |
| (3) 互いに認め合い、協力しながら行動できる生徒 | おもいやりのある子 |

2 目標と重点事項

(1) 生徒自身が何を学び、何が身に付いたかがわかる授業づくりの実践

- ・作業学習や職業・家庭科を中心に「何のために、何を学ぶのか」を生徒に分かりやすく、具体的に明示する。
- ・生徒による「目標設定」、「振り返り」の場を十分に確保する。
- ・得た知識や学んだ体験を定着させ、学んだことや成長を実感できるよう、実践的・発展的な学習及び力試しの機会の効果的な設定をする。

(2) 生徒の主体的活動を重視した地域応援活動の継続

- ・地域の一員としての自覚をもてるよう、地域資源を活用し、地域への貢献を行う。
- ・日々の学習で身に付けた力を挨拶や態度などで具体的に表せるよう、作業学習交流やアンテナショップの効果的な運営など地域の人たちとのやり取りする機会を設ける。

(3) 生徒一人一人に応じた職業教育の充実

- ・キャリア・パスポート「未来へのスケッチ」を作成し、授業で活用する。
- ・地域と連携し、高1の就労体験や長期・定期実習等の体験的な学習を実施する。
- ・作業学習と職業・家庭科、校内実習・現場実習の横断的な指導により、一人一人の働く力の向上を図る。

3 学習の集団について

(1) 学年・学級をベースとした集団での学習

- ・所属感、自己有用感等を高めるために、普段の学校生活のベースである学級や学年において授業を行う。〔日常生活の指導（朝・帰りの会、体トレ）、生活単元学習等〕

(2) 個別の教育的ニーズ（進路学習等）に応じたグループ別学習

I：一般就労や進学を目指すグループ〔職業・家庭（情報を含む）〕

（目指す姿）

- ・生徒間の意見の交流を通して自分と向き合い、「肯定的な自己理解」ができる。
- ・働く意欲や態度・体力・スキル等の働く力や、金銭管理、諸被害防止等、社会生活を営む上での留意事項を身に付ける。

II：福祉的就労又は一般就労を目指すグループ〔職業・家庭（情報を含む）〕

（目指す姿）

- ・公共施設の利用等の実際的な体験を通して自己選択・自己決定し、「～なこともできる自分」に気付く。
- ・実際に体験したことを自己選択・自己決定する楽しさを味わいながら、地域生活の中で生かし、余暇を含めた生活の幅を広げる。

Ⅲ：各種福祉サービスを利用しながら地域生活を送ることを目指すグループ〔職業・家庭科〕

(目指す姿)

- ・実際の社会生活体験を通して体験することの楽しみを味わったり、体験への抵抗感を軽減したりできる。
- ・他者からの支援をスムーズに受け入れたり、コミュニケーションを深めたりしながら、落ち着いて諸活動に参加する。

(3) 学部及び学年合同での学習

- ・同学年での関わりや先輩、後輩として関わる活動を通して、お互いに認め合いまとまりや一体感を高められるように合同の授業を行う。〔保健体育、芸術（音楽、美術）、総合的な学習の時間または総合的な探求の時間（集中実施型）、特別活動等〕

(4) 学年ごとの学習グループでの学習

- ・学年ごとに、習熟度別、課題別学習グループでの授業を行う。〔国語・数学〕

(5) 学年縦割りグループでの学習

- ・各学年の生徒が8つの作業種いずれかに所属し、班ごとの学習を行う。また、学年を超えた関わりの中で協調性が深まることもねらう。〔作業学習〕

指導の形態と週時数

※1 単位時間 50分

指導の形態		学習の形態	時数		
			1年	2年	3年
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	学級及び学部合同	5	5	5
	生活単元学習	学級・学年	4	4	5
	作業学習	班別(木工、陶芸、家庭、ビルクリーニング、園芸、リサイクル、食品加工、事務デザイン)	9	9	9
教科別の指導	国語・数学	学年ごとのグループ	2	2	2
	美術	学部合同及び縦割りグループ	2	2	2
	音楽	学部合同及び縦割りグループ	1	1	1
	保健体育	学部合同及び縦割りグループ	2	2	2
	職業・家庭	学年ごとのグループ	3	3	2
	道徳(1年)		(教育活動全体で実施)		
領域別の指導	道徳(2・3年)		(教育活動全体で実施)		
	特別活動	全校、学部合同及び委員会ごと	1	1	1
	自立活動		(教育活動全体で実施)		
総合的な学習の時間		学年ごとのグループ	-----		
総合的な探求の時間			1	1	1
合 計			30	30	30

- ◎ 作業学習、職業・家庭、及び国語・数学は、生徒の実態に応じて自立活動として実施する。
(令和2年度の対象生徒はいない)